

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 **りはくる**

公表日 **令和8年2月28日**

回収率 **100%**

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	体を動かす活動が可能なスペースが確保できている	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	子どもの健康状態やリスクに合わせて都度必要な職員数を配置している	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	玩具、教具の収納、視覚支援などそれぞれに応じて調整して行っている 子どもがわかりやすいようにスケジュールや部屋の名前をイラストで表示している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	活動によって使用する部屋を変更している	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	こどもが静かな場所で休息できるスペースや部屋を確保している	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	子どもや保護者の様子をデスタッフだけでなく、他のスタッフにも共有を日々行うようにしていたり、支援会議で共有をしたりして、目標に取り入れています。 計画更新時や必要時に支援会議を実施し、目標に対する振り返りを行っている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		現在は、社内で自己点検を行い、支援や運営の改善につなげております。事業所の体制を踏まえながら、第三者からの助言や評価の取り入れについては今後検討を進めてまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	職員が持ち回りで勉強を実施したり、関係機関の講師の方に職員向けの研修をしていただいている	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	定期的な観察評価や面談での聞き取りを行い計画を作成している	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	支援会議の中で情報共有や支援の方向性について共通認識を図っている	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	必要に応じて発達検査や言語検査を行っている	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	毎月会議等で話し合っている 活動内容は、毎月振り返って子どもたちに取り組んでほしい内容をスタッフで考えています。 児童発達支援の活動内容に関する会議を行い、プログラムの計画を立てている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	月毎に会議を行い活動を設定しており、週ごとに活動内容を変更している	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	子どもの状況に応じて人数の調整や個別で支援する時間を設けている	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼時にその日の活動内容と目的を共有し、役割分担について事前に決めている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終了後には職員間でこどもの様子の共有や実施した活動内容について話し合い、次回の活動を調整している	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	利用回毎に記録をとり、子どもの状況を記載するとともに今後の目標や支援についても記載している	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		就学時の移行支援については、必要に応じて事業所と学校間で事前打ち合わせをしたり、標準化検査による評価結果を共有しております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		現在は児童発達支援センターとの連携等の機会は設けておりませんが、今後も必要に応じて支援センター等との連携や助言の活用について検討してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		地域交流の機会については、ご利用者様から様々なご意見をいただいているため、お子さまやご家庭ごとのニーズを丁寧に確認しながら、必要に応じた形での実施を検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	利用終了後のフィードバックや定期的な面談の実施により保護者と共通理解を図っている	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		家族支援については、個別での相談対応を行っておりますが、プログラムとして提供する機会は現在設けておりませんが、保護者様よりご希望のお声もいただきましたので、今後はご家族のニーズや事業所の体制を踏まえ、家族支援の在り方を検討してまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		交流の必要性や実施体制の面から整理し、事業所としてのどのような支援が可能か検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	定期的に職員がブログを更新し、活動内容や日々の支援について共有する場所を設けている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		活動の中で地域のみなさまにご支援いただく機会がございます。今後も事業所の特性に合った形での地域とのつながりを模索してまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	りはくる		
○保護者等評価実施期間	令和7年10月20日	～	令和7年12月31日
○保護者等評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年10月20日	～	令和7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援内容やお子さまの成長等の共有を行う機会を設けている。	利用後のフィードバックや定期的な面談の機会を利用し、子どもの成長や課題について共通理解を持てるよう努めている。	定期的な面談の機会だけでなく、保護者様からのご希望によりいつでも面談が実施できることをお知らせしていく。
2	職員間で日常的に情報共有を図り、チームとして一貫性のある支援体制を整えている。	朝礼や支援会議を通して子どもの状況や支援方針を共有し、活動の立案から振り返りまでを全職員で行っている。	振り返りや支援内容の構造化を行い、より安定したPDCAサイクルを確立していく。
3	子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた専門的かつ柔軟な支援を行っている。	視覚支援や構造化を取り入れた環境調整を行い、必要に応じて発達検査等を実施しながら支援計画を作成している。	専門職の研修機会を継続的に確保し、支援の根拠や専門性をさらに高めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価や外部機関からの助言体制の整備	これまで自己点検を中心に運営してきたため、外部の視点を取り入れる機会が限定的であった。	事業所の体制を踏まえながら、第三者評価の導入や外部専門職との連携機会の確保を検討していく。
2	地域の子どもの交流や地域に開かれた活動の機会の確保	安全面や運営体制への配慮、およびニーズを踏まえ、具体的な取り組みは行っていなかった。	利用者ニーズを確認しながら、無理のない範囲で地域とのつながりを持てる機会を検討していく。
3	家族支援プログラムの実施	個別性の高いニーズを踏まえ、家族支援は個別相談を中心に行っていた。	保護者ニーズと事業所体制を踏まえ、ペアレントトレーニング等の実施可能性について検討していく。